

★ 提案34に賛成の議論 ★

医療費の上昇が何百万人もCalifornia州民を圧迫しています。提案34は、California州の患者と納税者に必要な救済をもたらす、州の薬物費用を削減し、カリフォルニア州の納税者に数十億ドルの節約をもたらします。

処方薬の価格を削減

提案34は、California州が恒久的にMedi-Calの処方薬費用を交渉する権限を認めることで、Medi-Cal患者の処方薬費用を大幅に削減します。

患者と納税者を保護

提案34は、最も利益を追求する医療法人に対し、California州の薬品割引プログラムを通じて受け取る納税者資金の少なくとも98%を患者の直接治療に使うことを義務付けることで、毎年さらに数百万ドルの節約を納税者にもたらします。

California州における医療法人の財政的乱用を止めましょう

提案34は、California州の納税者資金による薬品割引プログラムの重大な財政的乱用を停止します。

30年以上前、連邦政府は無保険および低所得者向けに処方薬やその他の治療を割引価格で提供し始めました。しかし、全国の医療法人は法的抜け穴を利用してシステムを操作し、薬品割引プログラムから患者に利益をもたらさないプロジェクトに資金を流用しています。例えば、プライベートコンサートのためにフットボールスタジアムをレンタルしたり、役員に数百万ドルの給与を支払ったり、スポーツスタジアムの命名権を購入したり、ロビー活動に数百万ドルを費やしたり、政治キャンペーンにさらに多くの資金を投入したりしています。

さらに悪いことに、数十億ドルの納税者資金を受け取るこれらの法人は、しばしばスラムのように運営される住宅プロジェクトに数億ドルを費やしています。LAタイムズの調査によれば、これらの住宅プロジェクトの住民は、不衛生な環境に強いられ、ゴキブリや南京虫にさらされており、賃借人の健康と安全が脅かされています。

提案34は、California州でこの乱用が発生するのを防ぎ、California州で生成された薬品割引プログラムの資金が本来の目的である患者支援に使われるよう要求します。

乱用者を追及する

提案34は、違反者に責任を負わせます。規則を破り、納税者資金を誤用した医療機関は、直接患者ケアに資金を再投資するか、California州の税制優遇措置や専門ライセンスを失うリスクを負わなければなりません。

提案34は、システムを乱用して自分たちの利益のために数十億ドルの納税者資金を着服してきた悪質な行為者を標的としています。そのため、患者支援を推進する団体やLGBTQコミュニティのリーダーたちを含む広範な連合が支持しています。提案34を支持する団体には、California慢性疾患連合、ALS協会、てんかん撲滅財団、California州老人同盟、AiArthritis、線維筋痛症サポートネットワーク、全身性エリテマドレーズ協会株式会社、および地域アクセス・ナショナル・ネットワークがあります。

患者支援のために使われるべき資金を転用することを許す法人の抜け穴を閉じる時が来ました。今すぐ患者を守りましょう。提案34に賛成票を投じてください。詳細はYesOnProp34.comをご覧ください。

州議会議員 **Evan Low**、元議長

立法 LGBT 党員集会

Kelly Goss、マネージングディレクター
ALS 協会

Nilza Serrano、創業者
Los Angeles・ラティノ・ヘリテージ

★ 提案34への賛成意見に対する反論 ★

提案34に反対票を投票—復讐のイニシアティブ California 州アパート協会は、億万長者の家主たちを代表して、真っ赤な嘘をついています。提案34の目的は一つだけです。それは、AIDS・ヘルスケア財団が家賃規制を支援するのを防ぐことです。

これらの億万長者の家主たちが、突然California州の貧困層の医療アクセスに関心を持ち始めたと思えますか？すでにMedi-Calが低コストの薬品プログラムを導入しているのに、提案34が薬品費用を下げるというのは嘘です。

AHFは、提案33—家賃規制イニシアティブのスポンサーです。家主たちは、自分たちのとてつもない企業利益を守るために数千万ドルを費やしている一方で、California州の1,700万人の賃借人の50%以上が収入の30%以上を家賃に支払っています。

彼らがAHFの名前すら挙げないのは、世界最大のAIDS組織を害したいと思っていることを知られたくないからです。

彼らが連邦340B薬品割引プログラムを政府の資金だと言うのは嘘です。340Bから得られる資金の100%は、製薬会社のポケットから直接出ている割引から来ています。だまされないでください—製薬業界は提案34を支持する多

くの団体に資金を提供しています。強力な340Bプログラムは、California州にとって良く、製薬業界にとっては不利です。彼ら自身が認めているように、非営利団体は、連邦法により、家賃規制の推進、女性の生殖権、そして健全な環境を擁護するという非営利の使命に従って、製薬会社の割引を利用することが許されています。

復讐のイニシアティブに反対票を投じてください。

Jerilyn Stapleton、役員会メンバー
全米女性機構

Jamie Court、会長
消費者監視機構

Larry Gross、専務取締役
経済生存連合

★ 提案34に反対の議論 ★

提案34は、California州アパート協会(CAA)を支配する億万長者の地主たちによって支援されています。

このイニシアチブは「羊の皮をかぶった狼」です。その目的はただ一つです：AIDSヘルスケア財団(AHF)が家賃統制を支持するのを防ぐことです。患者を守ると主張していますが、その本当の意図は、AHFが賃借人保護を選挙にかけることを阻止することです。

同じ投票用紙には提案33があり、家賃統制のイニシアチブはただ23語です：

「州は、どの都市、郡、または都市と郡が住宅家賃統制を維持、制定、または拡大する権利を制限してはならない。」AHFはこの家賃統制イニシアチブの主要な資金提供者です。提案33は、地域が家賃を安定させ、California州の1,700万人の苦しんでいる賃借人に救済を提供する能力を回復させます。

CAAと家賃を搾取してきた億万長者の支持者たちは、どんな代償を払ってでも家賃統制を止めたいと考えています。これらの企業家主たちが突然医療に関心を持っていると誰が信じるでしょうか？そして、提案34のために無限に流れる広告の背後にいるのは誰か、というと製薬会社が買い支えているフロントグループです。これら2つの悪質な業界は、家賃の引き下げと薬剤費の引き下げを最も強力に訴えるAHFを破壊したいという共通の目的で団結しています。

AHFは、世界中の47カ国で200万人の命を支える世界最大のAIDS組織です。私たちの使命は、「支払能力に関係なく、最先端の医療と擁護を提供すること」です。

AHFは、AIDS患者が郡病院の廊下で死にかけているという怒りから生まれました。AIDS患者には、死ぬための家が必

要でした。幸いにも、HIV治療は劇的に改善され、今日では住居が患者たちが直面する最大の問題となっています。

提案34は、民主主義に対する重大な危険です。この提案は、強力な利害関係者が単一の組織を標的にして罰し、口を封じることでイニシアチブプロセスを武器化しようとしています。もしこの提案が通れば、組織が生殖権、借家人のニーズ、環境保護のために擁護する能力が脅かされるでしょう。The Los Angeles Timesは、これを「自己利益のための」投票イニシアチブで「新たな低水準」に達したと表現しました。

これが法律になれば、どこまで行くのでしょうか？このため、全米女性機構、消費者監視機構、経済生存連合、消費者監視機構、ユナイト・ヒア・地域11、Dolores Huerta、その他多くの団体が反対しています。

私たちは、有権者であるあなたが、この企業地主による詐欺を見抜き、提案34に反対票を投じることを信じています。

詳細はwww.voteno34.orgをご覧ください。

Jerilyn Stapleton, 役員会メンバー

全米女性機構

Larry Gross, 専務取締役

経済生存連合

Condessa M. Curley, M.D./MPH, 役員会メンバー

AIDSヘルスケア財団

★ 提案34の反対意見に対する反論 ★

私たちが公共プログラムから利益を得る悪質な企業によって、私たちの家族が頼りにしているサービス、例えば学校や公共の安全、緊急対応者が影響を受けるときがあります。現在のシステムは、毎年患者ケアに使われるべき何十億ドルもの資金を浪費し、コミュニティを危険にさらし、公共の健康と安全を脅かしている企業によって悪用されています。患者を助ける代わりに、これらの資金は以下のように使われています：

安全でなく、健康基準に違反するスラムに対して資金提供すること：

<https://www.latimes.com/homeless-housing/story/2023-11-16/aids-healthcare-foundation-low-income-housing-landlords>

低所得の賃借人を訴え、路上に追い出すこと：

<https://www.poz.com/article/aids-healthcare-foundation-reportedly-houses-tenants-squalid-conditions>

スタジアムの命名権を購入すること：

<https://www.nytimes.com/2022/09/24/health/bon-securus-mercy-health-profit-poor-neighborhood.html>

そして、企業のCEOに数百万ドルを支払うこと：

<https://lowninstitute.org/projects/2023-shkreli-awards/>

提案34は、連邦の低コスト処方薬プログラムに対する最悪の企業の乱用を防ぎ、患者のための資金が企業のプロジェクトや政治的活動、あるいは公共の健康と安全を脅かす形で浪費されないようにします。提案34は、公共の資金を不正に使用している企業が責任を問われるようにします。今こそ、不正行為を止める時です。患者のために使われるべき資金が、助けを必要とする人々のケアに使われ、公共の安全を危険にさらさないようにしなければなりません。提案34に賛成票を投じてください。

Brian K. Rice, 会長

California州消防士協会

Stuart Fong, 議長

San Francisco Hep B Free

Rev. Dwight Williams, 議長

California州老人同盟